

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止について

本学においても関係者の新型コロナウイルスの感染が確認されています。皆さん自身が感染源となり得ることをも意識し、感染リスクが高まる5つの場面を避けるなど、**生活全般にわたって感染防止に留意し慎重に行動**してください。

複数人での会食は、会話のための声が大きくなり感染のリスクが高くなります。マスクを着用する、近距離での会話や大声での会話を避ける、県外在住者との会食を控える、ライブハウス・カラオケ店への出入りや飲酒を控えるなど、感染を避けるための行動をとってください。

主にアルコールを提供する飲食店でのアルバイトは控えてください。職種に限らず、アルバイト先での感染防止対策を十分行っているかを確認するとともに、手指衛生やマスク着用の徹底などに注意してください。

皆さんの適切な行動が、感染拡大を抑制します。皆さんの協力を求めます。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

